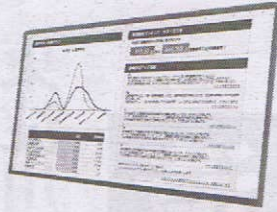


# UKパートナーズ 経審評点アップをサポート シミュレーションソフトを開発

モニターの画面イメージ



財務・経営コンサルテイングのUKパートナーズ(大阪市中央区、梅村尚樹社長)は、建設業の経営事項審査(経審)評点アップをサポートするシミュレーションソフト「クラウド経審PLUS」= <http://keishinplus.jp/>

「クラウド経審PLUS」を開発、リリースした。同社の強みと言う、財務コンサルテイングの経験を生かした決算予測シミュレーションを搭載したソフト。クラウド上で、簡易入力方法による決算予測シミュレーションが作成できる他、業績予測に応じたP点対策が可能という。一式工事、専門工事など業種別の業界平均との差異を自動的にグラフ化する機能や、評点アップのための考え方と具体的な方法について解説

画面形式の取り込み・交換が可能に



「Gaia Cloud」は最新データをリアルタイムに反映させた画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

**魅力発信へワークシヨップイベント**  
兵庫建協が開催  
入職促進対策を進める兵庫県建設業協会(松田隆会長)は9月23日、まちづくり業界の魅力を知らせてもらうためのオンラインシヨップイベント、業界研究スペシャルプロジェクト「まちづくり業界研究大作戦」を大阪市内で開催し、就職を控えた大学生63人が参加した。



同企画は、参加した大学生に、まちづくり業界の企画・広報の仕組みやイベントの面白さをSNSなどで拡散してもらい、12月4日に開催予定の本番イベントにつなげる狙い。イベントの企画はアクセスステージ(大阪市北区小松原町2ノ4)が担当。12月の本番イベントには、会員企業30社が参加し、出展し、建設業の魅力や働く醍醐味を説明し、雇用につなげていく。参加対象は2023年春卒業予定の大学生などで、定員は200人。

協和コンサルタンツ  
2264万 18  
01万6143円  
▽(一)伊保宝殿停車場線伊保陸橋橋梁補修工事(高砂市梅井)  
1億3838万8928円 松陽建設  
1億5540万  
1億3838万0900円

和歌山県下  
▽国道371号(仮称明神橋・甲高橋)道路改良設計業務(田辺市龍神村殿原地内)  
2790万  
センダイ工部コンサルタンツ

和歌山県  
▽国道371号(仮称明神橋・甲高橋)道路改良設計業務(田辺市龍神村殿原地内)  
1億7383万6千  
奈和建設

和歌山県  
▽国道371号道路改良工事(田辺市中辺路町小松原地内)  
1億0349万6千  
有新建設

新オプシヨン  
OCR変換システムを発売  
ビーイング  
ビーイング(三重県津市、津田誠社長)は9月27日、土木工事積算システム「Gaia Cloud」の新オプシヨン「OCR変換システム」を発売した。スキャンした画像形式の設計書にも対応するなど取り込み機能を強化した。

調査業務(かつらぎ町花園久木外地内)  
1247万2千  
タニガキ建工

ルタイムに利用できるクラウド環境に加えて、設計書を取り込むだけで積算が完了する「全自動積算」機能を備えた土木工事積算システム。今回の「OCR変換システム」ではスキャンした画像形式の金抜き設計書など、従来は手入力が必要な業務を削減でき、積算業務のさらなる効率化が実現。また、さまざまな発注者の書式にも対応した汎用(はんよう)取り込み機能や取り込み開始ページの指定機能、

※1面につき 工事の実施に当たり、最新の公害防止技術や工法などの採用、低公害型機材の使用など周辺地域に対する影響の回避・低減対策を実施する他、工区割を行い、可能な限り工事の平準化に努める。工事関連車両の走行では、走行ルートでの適切な選定、工事関連車両の運行管理など周辺環境への影響を最小限にとどめるよう配慮する。交通計画では、鉄道・道路・海路・空路などの既存交通インフラを最大限活用したアクセスルートを計画。ICTを活用し、適切なルートや混雑状況などの情報を提供する他、舞洲駐車場の利用

全中建  
近畿は11月11日開催  
ブロック別意見交換会

全国中小建設業協会(全中建、土志田領司会長)は、2021年度のブロック別意見交換会を、10月5日から11月29日にかけて関東ブロック、近畿ブロック、東北プロ